

- 問1 コートジボワールのように、カカオ豆などの特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存している経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。この経済構造が抱える課題として最も適切な説明はどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- 高度な技術力が必要なため、先進国との貿易摩擦が頻繁に発生しやすい。
 - 国内の工業化が進みすぎること、農村部の労働力が不足しやすい。
 - 特定の資源を加工して輸出するため、輸入原材料の高騰による影響を受けやすい。
 - 農産物の国際価格や天候によって、国の経済が不安定になりやすい。
- 問2 アフリカ州の資源と産業について述べた次の文のうち、レアメタルの特徴や具体例を説明しているものとして最も適切なものはどれか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- ボーキサイトから精錬されるアルミニウムのように、軽くて加工しやすいため航空機の機体に使われる金属である。
 - 鉄鉱石のように世界中に広く分布し、安価で大量に採掘できるため建築資材の主軸となる金属である。
 - スマートフォンなどの電子機器に使われるコバルトのように、埋蔵量が少なく希少価値が高い金属である。
 - 金や銀のように、主に装飾品としての利用や資産としての貯蔵を目的とした金属である。
- 問3 西アフリカのギニア湾沿いに位置するコートジボワールにおいて、その気候条件を最大限に活かして生産されており、生産量が世界一である農産物を次のの中から選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- カカオ豆
 - コーヒー豆
 - 天然ゴム
 - 綿花
- 問4 アフリカ東部のケニアの首都ナイロビは、緯度で見ると赤道付近に位置していますが、年間の平均気温が15度から20度前後と、一年を通じて涼しく過ごしやすい気候となっています。このように、赤道直下に近い場所でありながら気温が低くなる理由として、地形の観点から最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- 周辺を高い山々に囲まれた盆地であり、夜間に冷たい空気が地表付近にたまりやすい構造だから。
 - 大陸の西側を流れる寒流の影響を強く受け、海からの冷たい風が一年中吹き込んでいるから。
 - 標高が1000メートルを超える高原状の場所に位置しており、高度が高いために気温が低く抑えられるから。
 - 赤道付近は上昇気流が激しいため、常に厚い雲に覆われて直射日光がほとんど届かないから。
- 問5 日本を含む5つの国の統計を比較した際、ある国は14歳以下の子供の割合が30%を超えている一方で、65歳以上の高齢者の割合は極めて低く、輸送機械などの工業製品の輸出割合も低い数値となっていました。このような人口構成や産業の特徴を持つ国について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- アジアの経済成長著しい国であり、工業製品の輸出が経済の柱となっている。
 - アフリカなどに多く見られる発展途上国であり、若年層の人口割合が高い。
 - ヨーロッパなどの先進国であり、医療の普及により高齢者の割合が高い。
 - 広大な国土を持つ農業大国であり、小麦などの食料輸出が全輸出額の大部分を占めている。
- 問6 コバルトやマンガンのように、地球上の埋蔵量が非常に少ないか、あるいは技術的・経済的な理由で抽出が困難な希少金属の総称を何と呼ぶか、正しいものを選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
- ベースメタル
 - 貴金属
 - レアメタル
 - 非鉄金属
- 問7 アフリカ大陸の最南端に位置し、海上交通の要衝として発展した国の歴史的背景について述べた文として、正しいものはどれか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- 1917年の革命により君主制が倒れ、その後は一貫して社会主義による経済運営が続けている。
 - 19世紀前半にイギリスの植民地となり、1961年に独立した後は英語を公用語の一つとして用いている。
 - 1776年に独立を宣言し、広大な国土を活かした農業と先端技術産業で世界経済をリードしている。
 - ボルトアーと呼ばれる大規模な干拓事業を行い、19世紀にはその技術を背景にヨーロッパの強国となった。
- 問8 世界の大陸ごとの気候帯の割合を示した統計において、乾燥帯が四十六点七パーセント、熱帯が三十八点六パーセントを占め、乾燥帯の面積割合が最も大きいという特徴を持つ大陸はどこですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- 南アメリカ大陸
 - 北アメリカ大陸
 - アフリカ大陸
 - ユーラシア大陸
- 問9 輸出品の約8割を原油が占めるリビアのように、特定の資源に経済を依存している国における「原油価格」と「1人あたりGDP」の推移に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- 原油価格が変動するのは、その国の原油の輸出量が急激に増減し続けているためである。
 - 原油価格が下落しても、その国の1人あたりGDPは常に上昇を続ける。
 - 原油価格が上昇すると、その国の1人あたりGDPも大きく上昇する傾向がある。
 - 原油価格の推移と1人あたりGDPの推移の間には、まったく関連がみられない。
- 問10 エチオピアの宗教構成について、総人口約7375万人のうち、キリスト教徒が約4629万人、イスラム教徒が約2504万人、その他が約242万人であるという統計結果があります。この統計から読み取れる内容として正しいものはどれですか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- イスラム教を信仰する人々が、全人口の7割を超えている。
 - キリスト教を信仰する人々が、全人口の過半数を占めている。
 - 特定の宗教が過半数を占めることはなく、各宗教が均等に分布している。
 - キリスト教とイスラム教を信仰する人々の数は、ほぼ同数である。
- 問11 1960年の統計において、輸出総額の半分以上をコーヒー豆が占めていたブラジルでは、その後、工業化が進展しました。2010年には鉄鉱石や機械類、自動車、肉類など、多岐にわたる品目が輸出されるようになりました。かつてのブラジルのように、特定の一次産品の輸出に過度に依存する経済のことを何と呼びますか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- モノカルチャー経済
 - ブランテーション経済
 - アグリビジネス経済
 - 混合農業経済
- 問12 特定の鉱産資源や農産物の輸出だけに頼って国の経済が成り立っている状態を「モノカルチャー経済」といいます。この経済構造が抱えるリスクについて、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- 国内の特定産業の技術が向上しすぎるため、他国との貿易摩擦が激化する
 - 原材料を輸入して製品を輸出する過程で、関税が高くなりすぎて利益が減少する
 - 国際価格の変動や気象条件による収穫量の変化が、国家の収入を不安定にする原因となる
 - 特定の作物や資源を自国で消費しすぎるため、輸出に回す余力がなくなる